

ボランティア伝言板



夏号

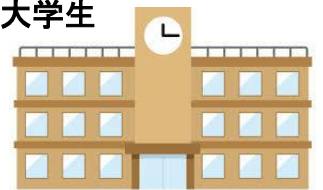
発行 佐伯区社会福祉協議会ボランティアセンター
〒731-5135 広島市佐伯区海老園1-4-5
佐伯区地域福祉センター（佐伯区役所別館）5F
TEL 921-3360 FAX 924-2349
令和元年 7月発行

ぷちボラ 体験スクール 夏

★参加者募集中★

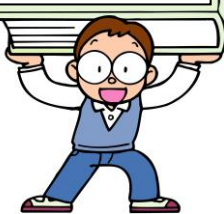
新たな出会いと、学校ではできない体験が
あなたを待っています！

- ◆日時 8月8日（木）～10日（土） 10:00～15:00 【全3回】
- ◆会場 佐伯区地域福祉センター、佐伯区内の公民館 ほか
- ◆対象 原則として、佐伯区内に居住または近辺に通学している高校生・大学生
- ◆定員 20名 【申込締切：7月26日（金）】
- ◆参加費 350円（ボランティア活動保険料）
- ◆主催 広島市佐伯区社会福祉協議会（佐伯区海老園1-4-5）
- ◆問合せ・申込み 広島市佐伯区社会福祉協議会 TEL (082) 921-3113
FAX (082) 924-2349



日程	内容	講師
8/ 8 (木)	A ・オリエンテーション	ひろしまレクリエーション協会 河野 英志 氏
	M ・レクリエーション	
8/ 9 (金)	P ・地域の見守り活動「まごころ弁当」を知ろう	区社協職員 地区社協「まごころ弁当」ボランティア
	A ・「まごころ弁当」を取材しよう M （作って配る体験）	地区社協「まごころ弁当」ボランティア
	P ・まごころ弁当を食べよう M ・体験のふり返し	区社協職員
8/10 (土)	A ・学習支援ボランティア体験をしよう	宿題やつつけ隊
	M ・子どもたちと遊ぼう！	
	P ・ふり返し M	区社協職員

楽しい体験
が、いっぱい
あるよ！



◆ぷちボラ体験スクール後、プラスα体験ができます。
ミニテニスパートナー
常設親子交流の場「おやっこさえき」
「やるき・げんき・さえき祭り」など

とび出せボラセンインタビュー



今回は、佐伯区三宅に在住の國生^{くにしゅう}さくらさんにお話を伺いました。

Q. ボランティア活動をするきっかけになったのは何ですか？

A. 母が福祉関係の仕事をしており、いろいろ話を聞く中で、高齢者の話し相手などは私にも出来るのではないかと考え、佐伯区ボランティアセンターに相談に行きました。

Q. どんな活動をされていますか？

A. 仕事でグラフィックデザインをしているので、ぷちボラ体験スクール（表紙に記載）のチラシづくりのお手伝い、障がい児季節行事（お餅つき）や、むぎの家作業所まつりなどに参加しました。



國生さくらさん

Q. ボランティアをして気づいたことがあったら、教えてください。

A. 「障がいのある子ども達とふれあう」と聞いたとき、「どうしよう?」と思いました。障がいについてあまり知らなかったし、子どもに対して苦手意識もあったので、正直に言うと気持ちがちょっとひるみました。でも、実際は普通の子どもとなんら変わりなく接することが出来ました。お餅つきに参加した日は、何となく心が浄化されたいい気分でした。

Q. 活動を通して感じたことや思ったことは何ですか？

A. 障がいのある人達（白杖をついた視覚障がい者や車いすユーザーなど）が困っておられるときは、どうしたら良いかとずっと考えてきましたが、素直に声をかけたらいいのだと思えるようになったことです。「ちょっとした勇気」が自分についたかなとも思います。

Q. 読者へ伝えたい事は何ですか？

A. ボランティアって身構えずに、やってみたら意外に楽しくできると思いました。仕事以外で社会とつながっている感じがします。

<ボランティアコーディネーターから一言>

とてもチャームな國生さん。相手への気配りや対応もしっかりされており、話を伺う中で感心しました。今後とも、よろしくお願いします。



あいるカフェ 5周年記念プレゼント!

「支援センターあいる」が、佐伯区地域福祉センター5階のボランティアセンターで、月1回（原則第2金曜日）12時から14時まで「あいるカフェ」を開催しています。

厳選したコーヒー豆、手作りケーキやクッキー付きドリンク（250円）が、心地よいひと時を演出してくれます。

7月にカフェ利用の方には、もれなく「あいるオリジナルグッズ」のプレゼントがあるそうです。

あいるカフェは、多くの方の支援と応援があり、実現した場所です。緊張しながらの接待ですが、顔なじみのお客様も増え、励みになっています。

「美味しいコーヒー」と「笑顔」でおもてなし致します。

地域の皆様、ぜひお立ち寄りください。



ありがとう

支援センターあいる 繁山 由美子



災害ボランティア研修会、開催しました！

昨年に続き、6月4日（火）「災害ボランティア研修会」をひろしま県防災教育振興協会の三宅典子さんを講師にをお迎えして開催しました。今回は、「クロスロードゲーム」というゲームを通して、防災に関する知識やノウハウについて、50名が学びました。

視覚・聴覚・身体に障がいのある方々も積極的に参加され、いつどこでおこるか分からない災害についてグループごとにディスカッションしたり、身近にあるものを利用してレインコートを作ったりしました。

＜クロスロードゲームの一例＞＊熊本・広島・東日本などであった事例から

- ① 避難勧告が出た際、近所の一人暮らしの高齢者に対してどのような対応をするか？
- ② 大きな地震が2度起こり、子どもを安全な場所に避難させたいが、主人が反対した時は？
- ③ 親とはぐれてお腹をすかせた子どもに、自分が持っている食べ物をあげるかどうか？

高齢者へどのような声掛けをしたら一緒に避難できるか、食べ物アレルギーの子どもがいることも考えた対応などグループに分かれて話し合いました。

いろいろな想定外の事例について、日ごろから、避難場所や避難経路の確認、防災グッズの常備、地震対策（つっぱり棒など）、非常時の時に備えて家族内でのコミュニケーションをしっかりとっておくなどを参加者みんなで確認しました。

参加者の感想＜一部抜粋＞

- ・日頃の準備をもう一度考えなおすきっかけになった。助かるための基本的な心がけ、地域のサロンで一緒に考えたいと思った。
- ・避難場所での過ごし方は、大変参考になった。
- ・様々な状況を想定して、どのように避難すれば良いか知る事ができてとてもためになった。
- ・避難所での性被害に関してあまり知らなかったので、ショックだった。女性の場合は、パジャマは男性用を使う方がよいそうだ。
- ・ゴミ袋でレインコートを作ったのは、良い体験だった。



やるき・げんき・さえき祭り開催！



開催決定！

ボランティアグループ
「きすな」による演奏

やるき・げんき・さえき祭り2019

- 日 時：令和元年9月29日（日）10：00～15：00
- 場 所：佐伯区地域福祉センター（佐伯区役所別館1・5・6階）
及び駐車場
- 内 容：記念講演会・ステージ・飲食コーナー・福祉体験コーナ
（予定）福祉クイズ・健康コーナー・相談コーナー・遊休品バザー
コーナー・お楽しみ抽選会など
- 主 催：やるき・げんき・さえき祭り実行委員会



ボランティア募集

ミニテニスパートナー

♥日 時：令和元年7月20日（土）
8月24日（土）
13：30～15：00

♥会 場：佐伯区スポーツセンター
（佐伯区楽々園6-1-27）

♥人 数：3～4名

♥持参物：上靴・動きやすい服・飲み物



発達支援・遊びの教室

♥日 時：令和元年7月14日（日）
9：30～11：30
（8月の活動はありません）

♥会 場：佐伯区地域福祉センター 6F
（佐伯区海老園1-4-5）

♥人 数：3～4名

♥指 導：海塚 敏郎氏

♥持参物：動きやすい服装・飲み物

*概ね毎月活動はありますが、日程が変わる場合もありますので、申込みの際は確認してください。

♣♣♣ 主催 広島市手をつなぐ育成会 佐伯区支部 ♣♣♣

♣募集の申し込み・お問い合わせ：佐伯区ボランティアセンター ☎082-921-3360

サマースクール2019

災害時の炊き出しを経験しよう！

日 時：令和元年8月3日（土）9：30～15：00

場 所：海老山公園（広島市佐伯区海老山町6）

対 象：幼児～大人（50名）

※小学3年生以下の参加は、必ず保護者の同伴が必要です。

参加費：500円（材料費・保険代を含む）

締切り：定員になり次第、募集を締め切ります。

申込み：山中まで（☎082-923-6451）

協 力：海老山と遊ぼう会 広島工業大学生ボランティア（予定）

指 導：佐伯地区青少年を育てる会 海老山と遊ぼう会 広島工業大学生ボランティア（予定）

主 催：佐伯地区青少年を育てる会

会 長 熊谷 佳巳（☎082-922-9941）

副会長 山中 章敬（☎082-923-6451）



◇「紙ふうせん」が表彰されました◇

精神障がい者支援グループ
の「紙ふうせん」が、令和元年
6月17日、「精神保健福祉事業
功労者県知事賞」を受賞されま
した。来年で結成20年だそう



紙ふうせんの皆さん

「点字グループつぼみ」からお知

らせ

現在、中国新聞の「球炎」、鈴木三重
吉賞受賞作品、ズッコケ3人組シリーズ
（那須正幹・著）などの点訳をしております